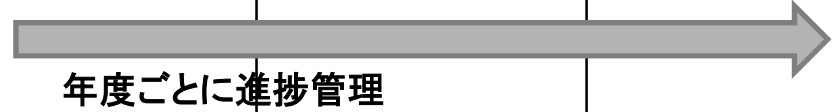




倉敷市生物多様性地域戦略 「年度ごとの進捗管理と 2030年度の総合評価」について

進捗管理と評価のスケジュール

- ・短期的目標(2030年度)の進捗管理と評価のスケジュールは次のとおり。

年度	令和3年 (2021年)	...	令和11年 (2029年)	令和12年 (2030年)	
					



進捗管理

・短期的目標(2030年度)の年度ごと(2021~2029年度)の進捗管理は次のとおり。

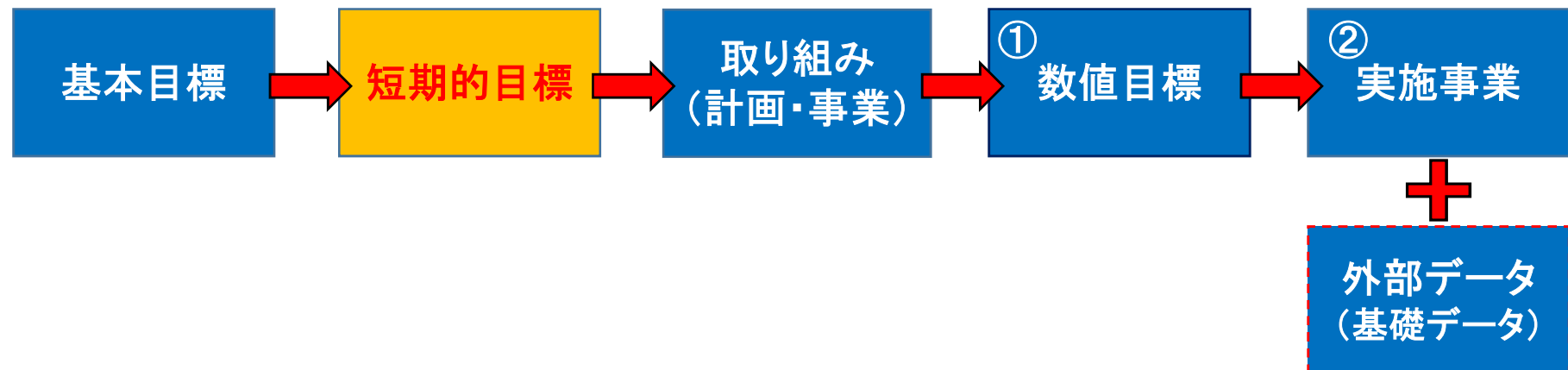
目標値に対する数値目標の達成状況、実施事業計画の実施状況で進捗管理を行う。

①数値目標【資料2 生物多様性地域戦略評価シート】

数値目標により前年度の状況を把握する。

②実施事業【資料2-2 実施事業計画表】

前年度実施事業の実績と今後の計画について確認する。



短期的目標の総合評価

- ・短期的目標(2030年度)の総合評価は次のとおり。

次の①から④の状況を基に、基本目標ごとに総合的に評価する。

- ①数値目標 【資料2 生物多様性地域戦略評価シート】

最終年度(2029年度)の数値目標達成状況により評価する。

- ②実施事業 【資料2-2 実施事業計画表】

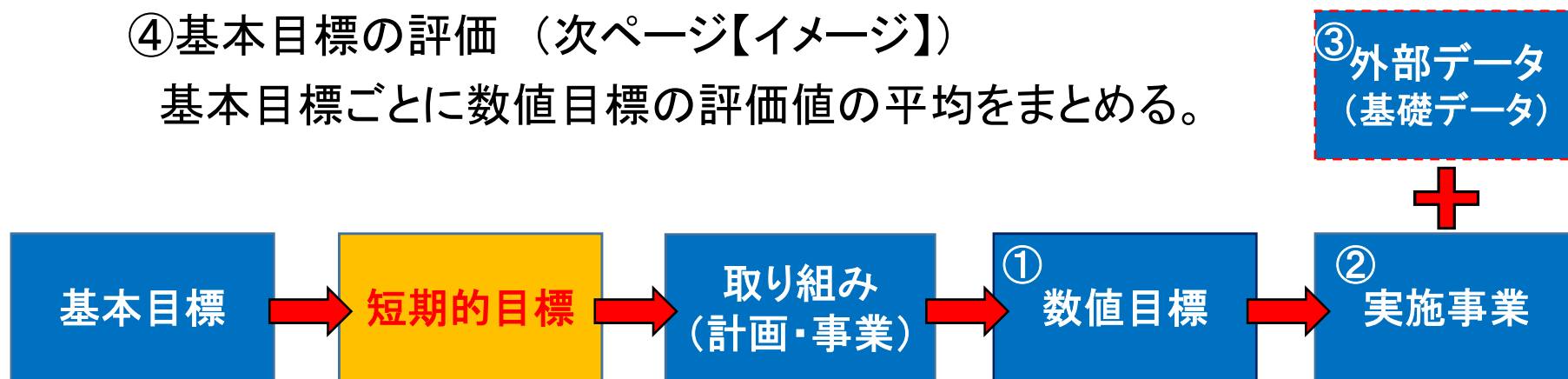
最終年度(2029年度)実施事業の実績を確認する。

- ③生物多様性に関する基礎データ 【資料2-3】

数値目標や実施事業で不足する情報を補完する。

- ④基本目標の評価 (次ページ【イメージ】)

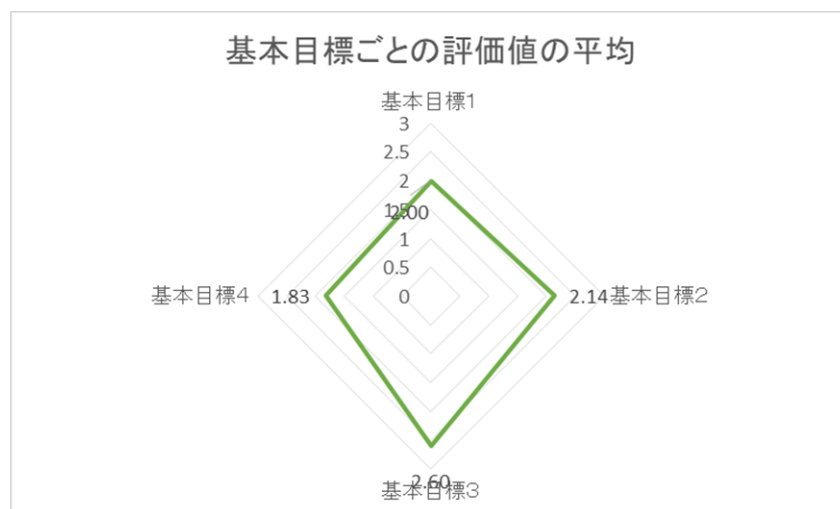
基本目標ごとに数値目標の評価値の平均をまとめる。



基本目標の評価（イメージ）

基本目標(2030年度)評価(イメージ)

基本目標		短期的目標(2030)		数値目標 項目数	評価			
					A	B	C	平均値
					3点	2点	1点	
1	倉敷の生態系の 状況と生き物と暮 らしとのつながり を把握する。	(1)	生物多様性に係る調査・研究により、 必要な情報が整備されて広く共有さ れている。	3				
		(2)	生物多様性に係る地域評価手法を 確立している。	1				
		小計		4				



基本目標ごとの評価の平均値をグラフ化します。値が3に近いほど評価が高く、1に近いほど遅れていることを示します。

